



平成 29 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 G a m e W i t h
 代 表 者 名 代表取締役社長 今 泉 卓 也
 (コード番号：6552)
 問い合わせ先 取締役管理部長 東 陽 亮
 TEL. 03-5775-5233

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

平成 29 年 5 月期（平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 29 年 5 月期 (予想)		平成 29 年 5 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 28 年 5 月期 (実績)		
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率			
売 上 高		1,552	100.0	56.2	1,056	100.0	994	100.0
営 業 利 益		611	41.0	85.0	414	39.3	330	33.3
経 常 利 益		607	40.8	84.2	414	39.2	329	33.2
当期（四半期）純利益		415	28.0	88.4	285	27.0	220	22.2
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益		50 円 65 銭			34 円 81 銭		26 円 89 銭	
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭			0 円 00 銭		0 円 00 銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表を作成しておりません。
 2. 平成 28 年 5 月期（実績）及び平成 29 年 5 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
 3. 平成 29 年 5 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数（50,000 株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大 110,000 株）は考慮しておりません。
 4. 当社は、平成 29 年 4 月 1 日付で株式 1 株につき 50 株の株式分割を行っております。上記では平成 28 年 5 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期（四半期）純利益を算出しております。

【平成 29 年 5 月期業績予想の前提条件】

(当社の見通し)

当社は、ゲーム攻略情報、ゲーム情報、ゲーム実況を中心とした動画配信を扱うゲーム総合サイト「GameWith」の運営を主たる事業としております。直近では、利用者同士が会員登録をし、相互にコミュニケーションを取ることが出来るソーシャルネットワーク機能が追加され、ゲームという同じ嗜好の利用者が集うコミュニティとなっており、ゲームをプレイする利用者のプラットフォーム化を推進していま

す。

当社が主に扱うアプリゲーム市場は、アプリに関する市場データと分析ツールを提供している App Annie が 2016 年 8 月に公開した「ユーザーあたりの平均収益 (ARPU) で各市場を分析する」では、日本は高いユーザーあたりの平均収益 (ARPU) となっており、我が国のアプリゲーム市場は世界でも有数の活況な市場となっています。このような市場において、当社はゲーム情報の専門メディアとしての信頼度を高め、より多くの利用者に活用されるよう取り組んでまいりました。この結果、「GameWith」のページビューが増加したため、閲覧数等に応じて得られる広告収入も増加するなど収益面についても影響がみられました。

このような状況下、当社の平成 29 年 5 月期の業績予想につきましては、平成 29 年 2 月までの期間は実績を考慮し、売上高 1,552 百万円 (対前期比 56.2%増)、営業利益 611 百万円 (対前期比 85.0%増)、経常利益 607 百万円 (対前期比 84.2%増)、当期純利益 415 百万円 (対前期比 88.4%増) を見込んでおります。

(売上高)

当社は展開しているゲーム攻略情報、ゲーム情報、ゲーム実況を中心とした動画配信を扱うゲーム総合サイト「GameWith」を運営しており、主な売上高はアドネットワークを利用した広告収入と、ゲームパブリッシャーを中心に広告枠等を販売するタイアップ広告収入及びその他の売上となります。

平成 29 年 5 月期は、攻略情報の提供体制を確立し攻略タイトルを増加させるとともに、期初より攻略情報アプリや動画配信を開始したことから、より多くのユーザーに当社のコンテンツを楽しんでいただきました。また、当社の認知度が向上する中で、平成 28 年 6 月よりタイアップ広告を展開しており、順調にゲーム制作会社のプロモーション需要を取り込むことができました。

平成 29 年 5 月期第 4 四半期は、アドネットワーク広告の売上高については、主要なアプリゲームの動向や季節要因等を鑑み、平成 29 年 5 月期第 3 四半期累計期間の閲覧件数 (ページビュー) と前期第 4 四半期の動向から主要なゲームタイトルの状況や季節要因を鑑み閲覧件数の推計を行い、それに広告単価を乗じて算出しております。なお、平成 29 年 5 月期第 3 四半期 3 ヶ月の月間平均閲覧件数は 8 億 9,030 万ページビューとなっておりますが、第 4 四半期は保守的にページビュー数を見込むため月間平均閲覧件数は平成 29 年 5 月期第 3 四半期から 10%程度減少した計画を見込んでおります。

さらに、平成 29 年 5 月期第 4 四半期において、当社のコンテンツにゲーム情報を交換できるコミュニティサイトをリリースするなど今後の事業の拡大に向けて新たなサービスを開始したことから 3 月までの実績を踏まえて見込まれる売上高を上記予想に加算しております。また、広告単価については平成 29 年 1 月時点の単価を閲覧件数に乗じていますが、第 4 四半期においてアドネットワーク広告の単価を改善する施策を導入したことにより広告単価が上昇したことから、当該実績を踏まえて見込まれる売上高についても上記予想に加算しています。

タイアップ広告の売上高については、これまでの実績から数ヶ月間広告出稿を頂けるクライアントが多いことから、平成 29 年 5 月期第 3 四半期累計期間の実績を基に、季節要因、クライアントのタイアップ広告への需要やその提案を行う販売担当者数等の推移から販売可能な広告量を推計し、売上を算出しております。この結果、タイアップ広告の売上高については、大型連休に行われたタイアップ広告案件の受注もあり、平成 29 年 5 月期第 4 四半期は平成 29 年 5 月期第 3 四半期の売上高から 47.1%増加することを見込んでおります。

以上の結果、平成 29 年 5 月期の売上高については、ネットワーク広告収入については広告単価の改善や新たなサービスの拡充を行ったことから前期比 32.3%増の 1,291 百万円、タイアップ広告収入については 196 百万円を見込み、全体として前期比 56.2%増の 1,552 百万円を見込んでおります。

(売上原価・売上総利益)

平成 29 年 5 月期の売上原価は 556 百万円 (対前期比 37.5%増) を見込んでおります。売上原価については、主にコンテンツを制作するライターやシステム等の開発人員の増員に伴う労務費が増加する見込みです。なお、地代家賃及びサーバ利用料は前期と同程度を見込んでおります。

以上の結果、平成 29 年 5 月期の売上総利益は 996 百万円 (対前期比 69.0%増) を見込んでおります。

(販売費及び一般管理費・営業利益)

販売費及び一般管理費については、主に管理部、広告事業部の増員に伴う労務費、人材採用費、サービス利用料が増加し、販売費及び一般管理費に帰属する地代家賃、業容の拡充のための広告宣伝費やコンサルティング費用等を含む支払報酬が増加しております。

以上の結果、平成 29 年 5 月期の販売費及び一般管理費は 384 百万円（対前期比 48.5%増）、営業利益は 611 百万円（対前期比 85.0%増）を見込んでおります。

(営業外損益・経常利益)

営業外費用として、当社の上場に伴う株式交付費 3 百万円を見込んでおります。なお、営業外収益は大きくは見込んでおりません。

以上の結果、経常利益 607 百万円（対前期比 84.2%増）を見込んでおります。

(特別損益・当期純利益)

特別利益及び特別損失は見込んでおりません。

以上の結果、当期純利益は 415 百万円（対前期比 88.4%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経営環境の変化等の様々な要因によって異なる場合があります。

以上

平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年6月30日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東
 コード番号 6552 URL https://gamewith.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 東 陽亮 TEL 03 (5775) 5233
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(千円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の業績 (平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
29年5月期第3四半期	1,056,242	—	414,592	—	414,167	—	285,482	—
28年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	34.81	—
28年5月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成28年5月期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年5月期第3四半期の数値及び平成29年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 平成28年2月10日開催の取締役会決議により、平成28年3月7日付で株式1株につき40株の株式分割を行っており、また、平成29年3月15日開催の取締役会決議により、平成29年4月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、平成28年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	千円	千円	%
29年5月期第3四半期	1,496,228	1,245,244	83.2
28年5月期	1,211,434	959,762	79.2

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 1,245,244千円 28年5月期 959,762千円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年5月期の業績予想 (平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,552	56.2	611	85.0	607	84.2	415	88.4	50.65

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
2. 平成28年2月10日開催の取締役会決議により、平成28年3月7日付で株式1株につき40株の株式分割を行っており、また、平成29年3月15日開催の取締役会決議により、平成29年4月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、平成28年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期3Q	8,200,000株	28年5月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	－株	28年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期3Q	8,200,000株	28年5月期3Q	8,200,000株

(注) 平成28年2月10日開催の取締役会決議により、平成28年3月7日付で株式1株につき40株の株式分割を行っており、また、平成29年3月15日開催の取締役会決議により、平成29年4月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、平成28年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いております。企業収益についても改善の動きがみられ、雇用情勢も改善しておりますが、個人消費については持ち直しの動きが続いているものの、このところ足踏みがみられております。

当社の属するインターネット広告市場においては、国内のインターネット普及率は毎年増加しており、平成27年のインターネット普及率は83.0%（注1）となっております。これに伴い、インターネット広告市場は、テレビ、新聞に次ぐ広告媒体へと成長し、今後も当該市場は拡大していくものと想定されます。特に、スマートフォン広告市場は平成29年度には5,369億円、平成30年度には6,182億円になると予測されております（注2）。

当社におきましては、既存の商材であるネットワーク広告につき、広告運用に係るオペレーションや広告枠の改善等を行い、収益性の改善に取り組みました。また、当第2四半期から引き続き、タイアップ広告の販売の強化や動画広告等の新たな商材の展開に積極的に取り組みました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,056,242千円、営業利益は414,592千円、経常利益は414,167千円、四半期純利益は285,482千円となりました。

（注1）総務省「平成27年通信利用動向調査」

（注2）株式会社CyberZ・株式会社シード・プランニング共同調べ「2016年 スマートフォン広告市場動向調査」

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は1,496,228千円となり、前事業年度末に比べ284,793千円増加いたしました。主な内訳は、売上の増加により現金及び預金が237,206千円、売掛金が51,922千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は250,983千円となり、前事業年度末に比べ689千円減少いたしました。主な内訳は、賞与引当金が13,578千円増加したものの、未払法人税等が14,113千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は1,245,244千円となり、前事業年度末に比べ285,482千円増加いたしました。内訳は、当期純利益計上により利益剰余金が285,482千円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は83.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成29年6月30日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の通りであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	830,714	1,067,920
売掛金	166,664	218,587
前払費用	17,881	22,450
繰延税金資産	8,590	9,836
その他	795	181
流動資産合計	1,024,645	1,318,977
固定資産		
有形固定資産	66,607	54,670
無形固定資産	122	103
投資その他の資産		
敷金	120,058	122,476
投資その他の資産合計	120,058	122,476
固定資産合計	186,788	177,250
資産合計	1,211,434	1,496,228
負債の部		
流動負債		
未払金	22,156	23,873
未払費用	53,674	46,157
未払法人税等	99,888	85,775
預り金	6,193	9,950
賞与引当金	4,590	18,168
その他	36,587	39,758
流動負債合計	223,090	223,684
固定負債		
資産除去債務	23,361	23,381
繰延税金負債	5,220	3,916
固定負債合計	28,581	27,298
負債合計	251,672	250,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	340,501	340,501
資本剰余金	339,500	339,500
利益剰余金	279,761	564,773
株主資本合計	959,762	1,245,244
純資産合計	959,762	1,245,244
負債純資産合計	1,211,434	1,496,228

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
売上高	1,056,242
売上原価	390,785
売上総利益	665,457
販売費及び一般管理費	250,864
営業利益	414,592
営業外収益	
受取利息	8
その他	97
営業外収益合計	106
営業外費用	
為替差損	530
営業外費用合計	530
経常利益	414,167
税引前四半期純利益	414,167
法人税、住民税及び事業税	131,235
法人税等調整額	△2,550
法人税等合計	128,683
四半期純利益	285,482

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、メディア事業の単一セグメントであるため、開示を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は平成29年3月15日開催の定時取締役会において、株式分割及び定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式の分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることを目的として株式分割を実施いたします。

2. 株式の分割の概要

(1) 分割の割合及び時期

平成29年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株主1株につき50株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	164,000株
今回の分割により増加する株式数	8,036,000株
株式分割後の発行済株式総数	8,200,000株
株式分割後の発行可能株式総数	32,800,000株

(3) 分割の日程

基準日	公告日	平成29年3月16日
基準日		平成29年3月31日
効力発生日		平成29年4月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

「1株当たり情報」は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算出しており、これによる影響については、当該箇所に反映されております。

(5) 新株予約権の権利行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、平成29年4月1日より新株予約権の1株当たりの行使価額を以下の通り調整します。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権	500円	10円
第2回新株予約権	8,125円	163円
第3回新株予約権	8,125円	163円
第4回新株予約権	16,000円	320円
第5回新株予約権	16,000円	320円
第6回新株予約権	16,000円	320円

3. 単元株制度の採用

平成29年4月1日を効力発生日として単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。